

## 文化財の保存活用とパークインの 利用再開に向けた取組について

洪谷理津子 議員

二業見番などについて

**質問** 二業見番と青梅神社

は経年劣化が激しいが、どのような修繕が必要ですか。

**答** 二業見番は、平成28

年に国の登録文化財となりましたが、耐震性がないことが判明したため、利用に制限を加え、建物の保護管理は緊急に対応しなければ

ならないもの限り補修しています。青梅神社は、指定文化財や登録文化財がないため、整備等は住民が中心となって行っています。

**質問** 二業見番は歌舞伎座

を思わせる外観であり、登録文化財としての活用について、どう考えますか。

**答** 二業見番については、説明パンフレットや現地に説明板の設置を検討し、交流人口の増加に資するよう周知したいと考えています。

**要望** 青梅神社は、歴史の小径の史跡にもなっており、整備の方法を地元も交え、検討するよう要望します。

**旧・館林市庁舎について**

**質問** 旧・館林市庁舎は、

昭和38年に完成し、設計者の菊竹清訓氏は、江戸東京博物館などを設計した日本を代表する建築家であります。市では、旧市庁舎を文

化の面からどのように捉えていますか。

**答** 旧市庁舎は、多くの建築雑誌に紹介されるなど、現在も注目される貴重な文化遺産であるため、多くの市民にその価値を認識していただけるよう調査や普及に取り組んでまいります。

**要望** 旧市庁舎は設計・構造・デザインとも現代の遺産であり、市民の誇りとして案内板の設置や見学会の開催など、市内外へアピールしていくよう要望します。

## 総合戦略の経過と今後について問う

斉藤 貢一 議員

**質問** 本市の総合戦略では、4つの基本目標における成果指標や目標値を定めるとともに、その基本目標の実現に向けて重要業績評価指標等を定めていると思うが、

上位計画である総合計画との整合性の意味からも、これらの公表状況と併せて、どのようなになっているのか。

**答** 業務棚卸表については、例年11月頃公開しております。総合戦略の重要業績評価指標等については、公表しておりませんが、毎年数値を把握し、担当課等へのフィードバックなどを実施するとともに翌年度の予算に反映させております。

**質問** 両計画ともPDCA

**答** 総合戦略の計画に基づく具体的な個別事業については、アクションプランを策定しており、総合戦略検証委員会での指摘事項や社会変化等を踏まえ、随時見直しを行い、効果的な事業実施に努めてまいります。

**質問** 市長に伺いますが、文章上でのすばらしい計画も、行動を伴わない計画では意味のないものになってしまいます。また、行ったことを評価できないシステムにすることは怠慢だと思います。検討する、促進するだけの漫然とした方策の中、課題が山積していく市政の現状について、どう考えているのか伺います。

**答** 計画実施体制には様々な課題があると実感しております。成果を上げて

パークインについて

**質問** サイクリングターミナル利用意見交換会では、委員の方からどのような意見が出ているのですか。

**答** 観光施設のほか、別の活用についても検討すべきなど、幅広い意見が交わされており、今後も継続して検討を重ねてまいります。

**要望** 利用再開に向けてのタイムスケジュールを立てながら、新しいテーマを持って市民福祉の増進に向けて進むよう要望します。

いくためには、各部署ごとに行うのではなく、全庁的なガバナンスが重要と考えております。問題意識の共有に關しても、部長クラスだけではなく、課長会議や職員研修の場においても参加するとともに、市民の皆様とも共有できるよう政策的な広報にも注力しているところです。今後も各指標をもって現政策を評価し、政策立案や適切な予算配分に向け、有効的に活用すべきものと捉えております。